



御崎馬を見守る諫訪さん

— 隨想 —

「御崎馬の歴史を残していくために」



今からおよそ300数十年も前から受け継がれている御崎馬たちが、ここ都井岬にいる。私は、その馬たちを監視する「都井岬馬保護対策協力会の馬監視員」になつて4年目である。

福岡県から地元の都井に帰つたのは平成26年6月。帰るきっかけとなつたのは母親の面倒を見るためである。帰ってきてからの就職活動中、当時の組合長に監視員にならないかと声を掛けてもらつたのが、馬監視員になつたきっかけである。

監視員の仕事は、主に道路の馬フン清掃や危険個所の報告、水飲み場の点検、そして馬の生存記録をつけること。文字にすると簡単そうに思うが、これがなかなか大変なのである。

馬監視員になつた当时は、すべての馬と一緒に見えてしまい個体識別ができず苦戦の毎日。どうやって覚えていいのかさえもわからず焦る日々が続いた。そんな中、アドバイスをくれたのが、大ベテランの馬監視員小田原博幸さんだつた。「番号に頼らず、馬の特徴をつかめ」と。そこで、性別、毛色、傷跡などの目印を頼りに馬を把握

する。諫訪英俊(61歳)は、都井地区出身。昭和47年に愛知県の工作機メーカーに就職。オイルショックで退職し、トヨタ自動車の下請け企業に勤務。その後福岡県に移り、平成26年に地元都井にUターン。趣味はウインタースポーツとゴルフ。



諫訪 英俊(61歳)

都井地区出身。昭和47年に愛知県の工作機メーカーに就職。オイルショックで退職し、トヨタ自動車の下請け企業に勤務。その後福岡県に移り、平成26年に地元都井にUターン。趣味はウインタースポーツとゴルフ。

馬監視員をしていてやはり生命の誕生は一番の感動である。思ひがけない出産シーンに遭遇し、間近で確認できた時は言葉では言い表せないくらいの感動であった。また、お客様の笑顔、都井岬ファンであるお客様たちとの馬談議も楽しみの一つである。今では馬監

視員という仕事が大好きだ。しかし、いい体験ばかりではない。昨年、生まれたばかりの子馬がなかなか立ち上がりせず、母馬のお乳を飲むことができなかつた。その後、亡くなつた子馬を目の前で確認したときは、本当にうらかつた。悲しい体験も多いが、自然の

ことは本当に貴重でもあり、これから先人たちが守つてきたやり方を継続しつつ、次の後世へ引き継げるよう日々努力をし続けていく。まだまだ知らないことだけでも日々勉強ではあるが、宝探しはこれからも永遠に続いていくだろう。



J A はまゆう
太陽のタマゴを市長に贈呈

4月28日、串間産完熟マンゴーをPRしようと、JAはまゆう果樹部会が、マンゴーの最高級品「太陽のタマゴ」を野辺市長に贈りました。試食した野辺市長も「おいしい」と太鼓判を押していました。マンゴーの出荷は5月中旬から6月中旬が最盛期で、7月末まで続きます。

TOPIC



上・下石波地区で避難訓練を実施

5月13日、上石波と下石波地区で避難訓練が行われました。発生が懸念されている大地震による津波の発生を想定し、訓練を実施。午後2時に警報が発令されると参加者は高台へ避難しました。そのほか、救急救命訓練も行われ、応急手当や心肺蘇生法、AEDの使い方などを学びました。

TOPIC



本城地区・江切川でホタル舞う

5月中旬から下旬にかけて、本城地区に流れる江切川で、たくさんのゲンジボタルがきれいに夜空を飛び交い、幻想的な光景が広がっていました。ホタルが光り始めるのは午後7時半を過ぎた頃。午後8時過ぎにはピークを迎え、同調しながら同じリズムで明滅を繰り返していました。

TOPIC

情報アラカルト

串間で行われるイベントやまちの話題まで、見逃せない情報が満載です。



4月28日、宮崎県市町選挙管理委員会連合会の総会が行われ、市選挙管理委員会・委員長の中澤征史さんが「選挙功労者表彰」を受賞されました。選挙管理委員会委員長として、12年以上従事した方に贈られるもので、平成15年12月から現在まで、適正な管理執行と公正な選挙の執行にご尽力されました。

TOPIC

「選挙功労者表彰」を受賞しました



5月18日、高鍋自然爱好者会のメンバーが市役所を訪れ、市制60周年を迎えた2014年に友好のシンボルとして姉妹都市である高鍋町から寄贈された花木「タカナベカイドウ」の剪定を行いました。枝が伸びると、花が咲きにくくなることから作業を実施。来年の春には、きれいな花を咲かせてくれそうです。

TOPIC

タカナベカイドウがきれいに